

新議会運営委員会・新多摩市議会だより編集会議紹介

議会運営委員会

所管事項：議会運営、議会改革など

議会人事の改選でメンバー構成を新たにスタートした議会運営委員会 大くま委員長に今期の抱負を聞きました！

みなさんに「見える」市議会を

ここ数年、コロナ禍の真ただ中では、議場での傍聴をご遠慮いただいたり、議会報告会も対面ではなくオンラインでの動画配信に切り替えたりと感染防止を最優先に対応してきました。

今期、傍聴も再開し、意見交換会も予定しています。改めて、市民のみなさんに「見える」市議会、みなさんと「対話できる」市議会へと取り組みをすすめます。

議会改革を継続 「声」を尊重する市議会に

「市議会」は市のもうひとつの代表である市長等によるまちづくりを「監視及び評価する」ために選ばれた市議会議員のあつまりです。市議会議員はそれぞれが様々な市民の「声」を背負っています。意見に相違があったとしても、そのひとつひとつの「声」は尊重され、公平・公正に扱われる必要があります。合意形成に努め、公平・公正かつ円滑な議事運営により、議会としての役割を最大限発揮できる環境づくりをすすめます。

「政策のタネ」を花開かせる市議会へ

多摩市議会では「政策提案できる市議会」をめざした取り組

みを続けています。専門分野を担当する常任委員会ごとに2年間のテーマを設定し、先進自治体の視察や課題に直面する当事者の方々との懇



前列左から、大くま委員長、池田けい子副委員長
後列左から、きりき委員、池田桂委員、遠藤委員、岸田委員、渡辺委員

談などを実施し、委員会単位での共同の研究・検討の成果を「提言」などにまとめ、議会全体で課題認識を共有し、市にたいして課題解決に向けた対応を求めています。

意見交換会などで市民のみなさんから寄せられた「声」や、各議員が持ち寄った「声」を「政策のタネ」として、政策提言や条例として花開かせ、具体的に課題解決を進める市議会の実現へ向けて、議会での質問・質疑や意見交換をさらに充実させていきます。

多摩市議会だより編集会議のメンバーも新しくなりました！

新メンバーでがんばります！ よろしくお祈いします！

今年4月の改選を経て、議会だより編集会議は、新しい編集委員、新人議員も含めて、新しい陣容でスタートし、任期は、今年5月から2025年4月までとなります。市議会で決まったことを正確に伝えることはもちろんですが、「なるほど、なるほど」と、おもしろく感じてもらえる誌面にしていきたいと、編集会議一同、張り切っておりますので、よろしくお願いいたします。

毎号、議員の手づくりでつくっています

議会だよりはこの10年ほどの間に、それまでのタブロイド判から雑誌風のA4判冊子形式に、編集は、基本的には議員のメンバーが集団で検討し内容やレイアウトを仕上げる、配布方法は、新聞折り込みから各戸配布へと、改革してきました。

編集会議は、毎号ごとに平均で6回開いており、毎回、「あでもない、こうでもない」と、文字通り、会派の違いを越えて、闊達に議論しています。特に、2020年3月からコロナ禍に見舞われ、議会報告会が開けない、行政視察ができない……と、ないない尽くしで、通常の16ページ建てを12ページ建てに減らすなどのことを余儀なくされ、そのつど工夫を重ねてきました。

これからも、さまざまな困難を乗り越えて、メンバー、また議員一同がんばっていきますので、どうぞご愛読のほど、よろしくお願いいたします。

(議会だより編集会議座長 小林憲一)

私たちが編集しています！



左から、いざち副座長、石山委員、しのづか委員、岩永委員、しらの委員、藤原委員、折戸委員、中島委員、小林座長、本間委員